

「県南地域堆肥活用研修会」を開催します

中東情勢等の影響により、原料の多くを海外に依存している肥料の価格が高騰しています。こうした状況の中、国内で調達可能な資源として、「家畜ふん堆肥」が改めて注目されています。

そこで、家畜ふん堆肥の特性を踏まえた作物生産について学ぶとともに、先進的な取り組み事例の共有や情報交換を通じて耕種農家と畜産農家の相互理解を深め、地域における家畜ふん堆肥活用の拡大を目的として「**県南地域堆肥活用研修会**」を開催します（当日は、各畜種の堆肥を展示し耕種農家と畜産農家による情報交換を予定）。

報道関係者の皆様におかれましては、ぜひ取材いただきますようお願い申し上げます。

開催概要

- 日 時：2026 年 7 月 29 日（水）13:30～16:00 ※受付開始 13:00～
- 場 所：大昭ホール龍ヶ崎 小ホール（龍ヶ崎市馴馬町 2612 番地）
- 主 催：茨城県県南農林事務所
- 協 力：龍ヶ崎市
- 対 象：耕種農家、畜産農家、農業協同組合等関係団体職員、行政関係機関職員（県および市町村）、その他関係者等 70 名程度

プログラム

- 13:35～ 家畜ふん堆肥の特徴と活用について 茨城県農業総合センター
- 14:15～ パネルディスカッション 豚ふん堆肥活用による耕畜連携について

パネラー **株式会社 オカダファーム** × **常陽醗酵農法牧場 株式会社**

耕畜連携の取組について、取組のきっかけや工夫、課題について、対談形式で紹介



（株）オカダファーム
代表取締役 岡田 彬成

龍ヶ崎市を中心に約 115ha の農地で水稻栽培を行う農業法人です。安全・安心なお米づくりと農業を通じての地域貢献に取り組んでいます。



常陽醗酵農法牧場（株）
農場長 櫻井 鉄也

牛久市で養豚を営む農業法人です。飼料用米を活用した「桜井さんちのひたち米豚」を生産するとともにもみ殻を活用した堆肥生産を行い耕畜連携に取り組んでいます。

- 15:15～ 情報提供

新たな水田政策（コメの中長期対策）の基本的考え方・仕組み 関東農政局茨城県拠点
補助事業紹介 茨城県県南農林事務所 企画調整部門 振興・環境室

- 15:30～ 畜産農家による堆肥の紹介

牛、豚、鶏の堆肥を展示、耕種農家と畜産農家での情報交換を実施

問い合わせ先

茨城県県南農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課
担当 珉和（はが）、金成（かなり）

耕畜連携
はじめて
みませんか？



県南地域 堆肥活用研修会

7 / 29 水 13:30～16:00
(受付開始 13:00)

会場 大昭ホール龍ヶ崎 (小ホール)
茨城県龍ヶ崎市馴馬町2612

.....
肥料価格が高騰している今、堆肥を活用してみませんか。
耕畜連携の事例紹介や堆肥の展示を通して、耕種、畜産に役立つ
情報をご紹介します。

プログラム

13:35～ 家畜ふん堆肥の特徴と活用について

茨城県農業総合センター

14:15～ パネルディスカッション 豚ふん堆肥活用による耕畜連携について

(株) オカダファーム × 常陽醗酵農法牧場 (株)

15:15～ 新たな水田政策（コメの中長期対策）の基本的な考え方・仕組み

関東農政局 茨城県拠点

補助事業紹介

茨城県県南農林事務所

15:30～ 畜産農家による堆肥の紹介

牛、豚、鶏、各畜種の堆肥を展示



申込
方法

2次元コードまたは
FAXにてお申込みください
申込締切り 令和8年7月16日(木)



問い合わせ

茨城県県南農林事務所企画調整部門振興・環境室畜産振興課

TEL:029-822-8521

FAX:029-822-7345